

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)上新電機 長岡神足店	階数	地上1F
建設地	京都府長岡京市神足四ノ坪1-2 他	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	100 人
気候区分		年間使用時間	5,000 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2012年4月12日
敷地面積	6,972 m ²	作成者	亀山
建築面積	3,784 m ²	確認日	2012年4月13日
延床面積	3,801 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 47%

③上記②以外のオンサイト手法 47%

④上記②以外のオフサイト手法 47%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物の配置について、敷地環境・導入路等を考慮し配置する。 建物については、景観・騒音・省エネ化等を配慮し計画する。	0
Q1 室内環境 騒音及び建築材料の配慮。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地等、敷地内環境の配慮。
LR1 エネルギー 建物の省エネ化の配慮。	LR3 敷地外環境 導入路及び駐車スペースの確保等、インフラに配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい